

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
栃木県(代表) 大田原市	(栃木県) 90000 (大田原市) 92100	3	平成20年度～ 平成23年度	平成20年度～ 平成21年度
活性化計画の区域				
二輪地区活性化計画は、栃木県大田原市二輪地区の受益30.0haを計画区域とし、本事業により農地の集団化を図り基盤整備事業を円滑に実施し、農業経営及び経営意欲の向上を図り担い手が意欲を持って定住できる環境を整え、現在(平成19年度)の農家戸数31戸を維持することを目標として策定したものである。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	1年	1年	100%	

(コメント) 計画作成時における目標値を達成できた。 平成19年度現在の集落農家戸数31戸を維持することを目標としてきたが、平成23年3月現在の集落農家戸数を確認した結果、1戸減の30戸であった。 しかし、基盤整備促進事業である経営体育成基盤整備事業二輪地区については、目標どおり本事業実施後1年以内に着手することができた。

2 目標達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
基盤整備(農用地等集団化)	経営体育成促進換地等調整事業 30ha			栃木県土地改良事業団体連合会
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
	平成20年度	平成21年度		
事業の効果				
経営体育成促進換地等調整事業を実施したことにより、平成22年度に経営体育成基盤整備事業を円滑に着手することができた。				

3 総合評価

(コメント)

[大田原市]

経営体育成促進換地等調整事業は、農業基盤整備事業に必要な事業であり、本事業の実施が、農業基盤整備の円滑な実施に繋がったと思われる。

今後の農業基盤整備事業が確実に実施されることで二輪地区の活性化及び定住の促進が期待される。

[栃木県]

本事業により農地の集団化が円滑に進み、基盤整備事業が着手されたことで、農作業の効率化・省力化が図られ農業経営の向上が期待される。

4 第三者の意見

(コメント)

大田原市農業委員会 会長 五江淵 皓

本事業の実施が農業基盤整備事業の円滑な実施に繋がり、集団営農及び大型農業機械による農作業の効率化・省力化が図られた。

今後、更なる当地域の活性化や農地の集積・担い手の増加が期待される。